

米原歴史文化街道

米原市の歴史・文化財を歩く 162

米原を歩き交った鎌倉武士

― 大河ドラマを楽しもう ―

○米原市は「巷」

日本の中央に位置する米原市は、琵琶湖と伊吹山・霊仙山の自然に育まれ、人々は、この地に特色ある歴史・文化・風土・生業を生み出すとともに、いくつもの「物語」を紡ぎだし、共有してきました。教育委員会では、令和二年度から三カ年をかけて「米原市文化財保存活用地域計画」の策定に取り組んでいます。この計画は、市内のさまざまな文化財を総合的に調査・把握し、かけがえない文化財を次世代に引き継いでいけるよう、その保存と活用を推進するものです。

「巷」という言葉は人が集まる賑やかな場所、そこから道が分かれる場所を指します。米原市には、古代から重要な道が通り、江戸時代に中山道・北国街道・北国脇往還が整備され、六つもの宿場が置かれました。さらに、湖上交通の拠点でもありました。このほかにも重要地点を結ぶ古道が、市内には縦横に張り巡らされていました。

古くから、京都から東海・北陸方面へ往来する主要な方法として、大津から



12月17日号
伊吹山テレビで
紹介しています

琵琶湖を船で渡って朝妻湊に上陸して米原市内を通るルートが利用されました。湊と中山道醒井を結ぶ古道が朝妻街道です。箕浦は、鎌倉時代の東山道（のちの中山道）と北陸道の分岐点で、さらに「千石道」を通じて大原地域とつながり、朝妻湊を経由する物資の集積地として、市場があり大いに栄えました。

今年のNHK大河ドラマは『鎌倉殿の13人』です。米原には、鎌倉幕府成立前後に活躍した武将たちが足跡を残しています。平治の乱（一一五九年）で平清盛に敗れた源義朝親子は、近江路を東国に落ちていきます。すでに不破関は平家方に固められていたため、彦根市鳥居本から街道を左に大きく迂回して、藤川から関ヶ原町小関に抜けるルートを選択します。おそらく、箕浦から北陸道を北上し、長浜道で春照を経由したと考えられます。一二月の伊吹山麓。寒風が肌を裂き、雪が道を埋め、困難を極め、やがて一一歳の源頼朝は一行とはぐれ、草野谷に迷い込んでしまいます。

○武将たちの足跡

寿永二年（一一八三）、平家を都から追い落としたのは木曾義仲です。攻め上る途中に浜街道を通り、日本武尊を祀る磯山に詣でました。このとき鎧を掛けたのが「鎧掛岩」です。さらに磯山には、翌年、義仲を粟津で討ち果たした武蔵坊弁慶の手形がある「弁慶岩」もあります。武将たちの息づかいが湖畔に残ります。

建久元年（一一九〇）、源頼朝は都で後白河法皇と後鳥羽天皇に謁見し、帰路に箕浦庄に宿泊しています。箕浦の八幡神社には、このとき頼朝が腰かけた石があります。一説には、この三年前に失意のまま奥州平泉へ落ちのびた源義経が腰かけたとも言われています。三メートル足らずの石に、時代に翻弄された兄弟の悲喜もごもごの人生が映し出されているようです。京から東国へ、いつの時代も人々が通過した米原なのです。

（生涯学習課歴史文化財担当）



▲木曾義仲鎧掛岩



▲源頼朝腰掛石

消費生活相談コーナー

令和4年4月1日から成年年齢が18歳になります！

成年年齢の引き下げにより、成年(18歳)になると、親の同意を得なくても契約や買い物などが1人で自由にできるようになります。



消費生活相談員より一言

成年(18歳)になると、未成年を理由に簡単に契約を取り消すことができなくなります。契約をする前に、本当に必要か、支払いができるかなどよく考えましょう。判断に迷う場合は、その場で契約をしないようにしましょう。

「おかしな」と思ったら、一人で悩まず、まずは消費生活相談窓口へご相談ください。

市 消費生活相談窓口(本庁舎)
相談専用 ☎53-5110
(受付) 平日 9時30分~16時

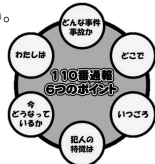
米原警察署情報

☎ 米原警察署 ☎52-0110

1月10日は110番の日

110番は、事件・事故などの緊急事態をいち早く通報するための専用電話です。慌てず落ち着いて、警察官の質問に答えてください。

- ①何があったのか
- ②どこであったのか
- ③いつあったのか
- ④犯人の人相・着衣など
- ⑤今、どうなっているのか
- ⑥自分の連絡先・名前など



事件・事故以外の警察へのお問い合わせ・相談は、警察相談ダイヤル[＃9110]、または最寄りの警察署までお願いします。



令和3年市内交通事故数(11月末時点)

件数 12件(+2件) 死者 0人(±0人)
傷者 14人(±0人) ※()内は前年比